

本を読みましよう! ~ 図書館から ~

皆さんは図書館をどれくらい利用していますか。毎日来る人、試験前にだけ来る人、もしかしたらほとんど行ったことがない人もいるかもしれません。利用方法としても、読書・勉強・レポート作成等、色々あるでしょう。ここでは、読書について少し書いてみたいと思います。

どんどん本を読みましよう。私は子どもの頃から読書が好きで、ひたすら本ばかり読んでいました。今はとりあえず毎月10冊を目標にしていますが、諸々の理由であまり読めず、年間100冊読めたらいいかなあというところです。今は本を購入することの方が多のですが、学生時代は、学校と地域の図書館をよく利用していました。大学の図書館には専門書しかなくて、ショックを受けたことを覚えています(笑)。今から思い返してみれば、自分の好きな読書傾向が確立された頃で、ワクワクしながら手当たり次第に読んでいました。

本は心を豊かにしてくれる、教養を深められる等と大層なことを言うつもりはありません。純粋に、楽しい・面白いことだと思います。思わず頭の中で絶叫した本、号泣した本、心が温かくなった本、面白過ぎて止められなくて夜中の3時まで一心不乱に読み続けた本 色々あります。もちろん、そのようなものばかりではなく、読むことがまるで苦行としか思えないものもあるでしょう。しかし、そのような本を読むこともきっと何らかのプラスになると思います(多分.....笑)。

本なんてほとんど読まないという人もいます。個人的には、ちょっともったいないかなと感じます。映画やドラマの原作本、ライトノベル、好きな芸能人が勧めていた本、話題の本.....何でもいいと思います。少しずつでも読んでみてはいかがでしょうか。他のこととはまた違った、読書だけが持つ楽しさというものを感じられるのでは.....。また、本を読むことについて妙に構えずとも、読書はいわば究極の暇つぶしですよ。もっと気軽に、本に触れてほ

しいと思います。ゲームやネットの方がよっぽど暇つぶしできるという意見もあるでしょうが.....(笑)。

そして、本をよく借りて読む人。カウンターで処理をしていると、借りられていくのはやはり日本の人気作家の本が多いように感じます。是非、海外の作家の本も読んでみましよう。登場人物の名前が覚えられない、翻訳文体が読みにくいetc...の理由から敬遠されがちなのか、ただ単に海外の作品自体に馴染みがないのか.....よく分かりませんが、読書は好きだけれど日本の作家しか読まないという人がもしあれば、それは絶対に損です! ただ、元々本校の図書館には海外作品の蔵書が少ないので、これから増やしていきたいところです。

長々と書きましたが、私自身はいわゆるブンガク作品はあまり読んでいませんし、少々偏った読書しかしていません。また、これは小説を想定して書いており、そもそも娯楽としての小説より高専生としては専門書を読むべきという意見もあるかもしれません。ただ、読書は楽しいよーもっと本を読もうよーということを学生の皆さんに言いたかったので、書かせていただきました。是非、もっと本を読みましよう!

